

都賀地域包括支援センター 担当

日 時： 令和8年3月17日（月）午後1時30分～2時00分

会 場： 栃木市役所302会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 12名

事例提供者1名、サービス提供事業者1名、助言者7名、
包括職員2名、傍聴者1名

手足の痺れを抱えつつも夫の介護を行ない、楽しく生活していきたいと考えている 前向きな81歳の女性

〈目標〉 1日:現在できている家事や仕事を継続していく
1年:身体状況が維持され自宅で過ごす事ができる
利用サービス:通所型サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- 足の痛み等これ以上悪くならないようにしたい。
- 他者との交流を増やし楽しい時間を過ごしたい。

《助言者からの助言内容》

- 脳梗塞の再発予防としては薬の服用を欠かさないこと、水分管理も大切。
- 歯周炎、舌圧の低下の有無や人工歯の摩耗、義歯の歯石の付着の確認等で定期的に歯科受診をする。義歯や口腔内の管理をしてもらうことが必要。趣味のカラオケは口腔筋肉が鍛えられるため継続して欲しい。
- 薬の一包化やお薬カレンダー、アラームの活用は飲み忘れ防止に効果的。薬の保管場所の考慮も大切。
- 新たなりハビリをすることより、痺れや痛みの症状の緩和を図った方が良い。自宅の環境整備を行い転倒の予防していく。
- 栄養摂取に気を付けてフレイルを予防する。
- 定期歯科受診をして口腔管理を行い、しっかり咬めるようにしておくこと食事内容のコントロールに繋がる。
- 地域には他者との交流が図れる地区社協のサロンがある。



薬の服用の継続、適切な水分摂取、義歯等の口腔の管理を行い健康管理していく。
環境整備を行い転倒予防を図っていく。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- 介護者同士の交流や情報交換ができる場が地域に不足している。